

皆さんこんにちは。1月11日(金)開催の新年合同例会、谷口例会委員長はじめ、例会委員会の皆様ご苦勞様でした。私はフリーズしましたが、二宮副会長が閉会挨拶でしっかり閉めていただき、無事に終わりました。

女性誌「日経ウーマン」が選ぶ「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019」の大賞にステーキ専門店他「百食屋」オーナーの中村明美さんが決まった。



「1日百食限定、ランチ営業のみ」の形態を取ることで、長時間労働が珍しくない飲食業界で「残業ゼロ」を実現した事業モデルが評価された。同賞は今年で20回目、様々な分野で目覚ましい活躍を遂げた女性を、毎年表彰する。

歴女、鉄女あるいは仏像ガール・山ガール・刀剣女子等、日本の女性たちが、関心と活動をおこなってなく広げていることを示す言葉が、近年増えている。

ことさら女性であると強調するのは、まだまだ珍しいことの表れでもあるが、大きな時代の変化は明らかだろう。

しかしながら、世界経済フォーラムが先ごろ発表したところによると、男女平等の度合いを示す「ジェンダーギャップ指数」で、我が国は149ヶ国のうち110位で、下から数えた方がずっと早い。

ロータリークラブの女性会員の比率は世界21%・日本5.77%・各地区4.1%。  
世界ではガバナーの約20%が女性(日本は1/34)

※女性会員の比率が低い要因

1. 歴史の長いクラブほど女性会員の比率が低い  
歴史の長い上位10クラブの女性比率(0.88%)
2. 会員数の多いクラブほど女性会員の比率が低い  
会員上位のクラブの女性比率(0.759%)
3. ロータリーは男性社会という昔からの考え